



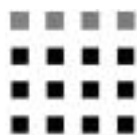
*Scientific and Technical
Information Network*

2 . STN の経済的な利用方法

OUG ライフサイエンス分科会

日時: 2003 年 3 月 20 日 (木) 14:00 ~ 17:00

場所: (社)化学情報協会 6 階講習会室



JAICI 社団法人 化学情報協会



2. STN の経済的な利用方法

STN の料金体系を理解しましょう。

STN の料金体系は従量制です（固定制ではありません）。原則として入手されたデータ量に応じて課金されていきます。

STN には基本料金や、最低使用料金はありません。このため、STN をご使用にならなければ、課金はいっさい発生しません。ですから、日頃あまり STN を使用されない方でもお気軽に ID を取得いただけるシステムといえます。

STN には三つのインターフェース（STN Easy, STN Classic, STN on the Web）が用意されています。各インターフェースの検索機能や特長はそれぞれ異なりますが、一般 ID（STN Easy 専用 ID ではなく）をお持ちの方は、好きな時にお好きなインターフェースをご利用いただけます。料金体系もインターフェースによって異なり、「STN Easy」と「それ以外（STN Classic と STN on the Web）」とで二つに大別されます。このため、調査する内容によってインターフェースをうまく選択するのも、経済的に STN を利用するポイントとなります。

インターフェース	料金体系
STN Classic	<ul style="list-style-type: none"> ・ ID 取得のための初期セット料（取得時のみ） ・ 回線使用料 ・ 接続時間料 ・ 回答表示料（ただし、無料の表示形式もある。） ・ ChemPort 利用料（ただし、無料サービスもある） ・ 消費税
	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検索実行料（一部のデータベースのみ） ・ SELECT 料（一部のデータベースのみ） ・ アラート (SDI 検索) 実行料 ・ コマンド実行料（一部のコマンドのみ） </div>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検索料（ただし、絞込み検索は無料。） ・ 回答表示料（ただし、タイトルリストは無料。） ・ ChemPort 利用料（ただし、無料サービスもある） ・ 消費税

このほか、大学教育における CAS 情報の利用を援助するために、大学割引制度（Academic Program）が用意されています。ただし、割引料金が適用される大学や利用できるファイルと時間帯には制限があります。

STN を使用する前に料金表をチェックしましょう。

どのインターフェースでも，料金体系はデータベースごとに細かく設定されています．特に STN Classic または STN on the Web を利用する場合は，以下の点に気をつけて事前に料金表をチェックしましょう．

- ・ 接続時間料はいくらか？
- ・ 目的のデータを表示するための表示形式はいくらか？
- ・ 使用するデータベースで無料の表示形式はあるか？
- ・ 検索料 (検索語料，構造検索料，配列検索料など) は設定されているか？
- ・ SELECT 料は設定されているか？
- ・ 実行料の課金されるコマンド* をどのくらい使用するだろうか？

* 実行料の課金されるコマンド

STN Classic または STN on the Web で以下のコマンドを実行すると，実行料が課金されます．SEARCH コマンドもファイルによっては検索料の課金される場合がありますが，以下のコマンドはどのファイルでも一律の実行料が課金されます．各コマンドの実行料は料金表をご覧ください．

コマンド	機能
ANALYZE コマンド	指定した回答レコードのフィールドからタームを抽出して解析します．タームは条件つけて抽出したり，さまざまな形式で表示できます．
FOCUS コマンド	回答レコードを適合率の高いと思われる順に並び替えます．
RUN コマンド	プログラムを実行します(DGENE ファイルのホモロジー検索など)．
SmartSELECT 機能	TRANSFER コマンドと同じです．実際は SEARCH コマンドを使用します．
TRANSFER コマンド	指定した回答レコードのフィールドから抽出したタームを指定した検索フィールドで検索します．
TABULATE コマンド	ANALYZE コマンドで抽出したタームから表を作成します．

接続時間料金を節約しましょう。

STN Classic と STN on the Web では料金体系に接続時間料が設定されています。接続時間料を節約するために以下の点を心がけましょう。

- ・ 接続時間料は 1/100 時間 (36 秒) ごとに課金されます。目的のデータが得られたら速やかにセッションを終了しましょう。
- ・ 検索で利用する質問式やコマンドは事前に用意しておき、適宜アップロード、修正して迅速に入力しましょう。
- ・ 検索の途中で検索方針を再検討しなくなったら、とりあえず今までに作成した重要な回答セットを一時保存して、LOG H または LOG Y でセッションを終了しましょう。 参照
- ・ オンラインセッション中に回答をチェックしたり質問式を修正する場合は、一旦 => FILE STNGUIDE などと入力して接続時間料が無料の空間に入りましょう。 参照
- ・ マルチファイル検索を実行する場合は、最初から多数のファイルで本検索するのは避けましょう。まず STNindex 機能を用いて回答レコードの存在するファイルをチェックして、ファイル数を絞り込んでから本検索してください。
- ・ STN には、検索機能やデータ量は同じですが料金体系のみ異なるファイルがいくつか用意されています。場合によっては接続時間料が無料のファイルを使用しましょう。 参照

回答セットは一時保存しましょう。

STN Classic または STN on the Web では、たとえ回答を表示しなくても、その回答セットを得るまでに使用料の課金が発生します。一度作成した回答セットは貴重です。同一セッション中の回答セットはできるだけ再利用しましょう。また、同一セッション中の回答セットでなくとも、SAVE コマンドで保存しておけば、後日 ACTIVATE コマンドで呼び出して再利用できます。

回答セットを保存する場合は「永久保存」か「一時保存」かを選択できます。保存された回答セットは保管料が毎月課金されますので、「とりあえず保存しておこう」という場合は「一時保存」がおすすめです。

<回答セットの保存方法>

=> SAVE TEMP 回答セットの L 番号 保存名/A 一時保存

=> SAVE 回答セットの L 番号 保存名/A 永久保存

保存名の形式

- ・ アルファベットで始まる。
- ・ 1~12 文字からなる。
- ・ アルファベット A~Z, 数字 0~9 からなる。
- ・ /A で終わる。
- ・ 既に保存名として使用されている名称とは重複しない。
- ・ 保存名は END, SAV, SAVE, SAVE, L 番号ではない。

TEMP を入力すれば「一時保存」され、TEMP を入力しなければ「永久保存」されます。「一時保存」すると回答セットは一週間無料で保存され、それ以降は自動的に削除されます。一方「永久保存」すると DELETE コマンドで削除するまで保存されます。毎月課金される保管料については料金表をご覧ください。

<回答セットの保存例>

```
=> FILE CAPLUS                                CAplus ファイルに入ります。

=> E NOYORI R/AU                               野依良治博士の著者名の登録状況をチェックし
E1          1      NOYORI MASAU/AU            適切な検索語を探します。
E2          5      NOYORI MITSURU/AU
E3          182 --> NOYORI R/AU
E4          471      NOYORI RYOJI/AU
E5          1      NOYORI RYORI/AU
E6          3      NOYORI RYOZI/AU
              : 省略
E12         1      NOYORI TAKASHI/AU

=> S NOYORI R?/AU                             野依良治博士の文献・特許を検索します。
L1          658 NOYORI R?/AU

=> SAVE TEMP L1 NOYORI/A                     回答セット L1 を一時保存します。
ANSWER SET L1 HAS BEEN SAVED AS 'NOYORI/A'
```

<回答セットの呼び出し例>

```
=> FILE CAPLUS                                回答セットを保存した時に使用した ID でアクセスして
                                              回答セットを作成したファイルに入ります。

=> D SAVED                                    保存してある回答セットのリストを表示することができます。
NAME          CREATED          NOTES/TITLE
-----
AMIDINE/A     05 MAR 2002  11870 ANSWERS IN FILE CASREACT
BIO/A         20 NOV 2001  850 ANSWERS IN FILE REGISTRY
FKBP13/A     17 FEB 2002  225 ANSWERS IN FILE DGENE
NAKA/A       26 MAY 2001  12 ANSWERS IN FILE INPADOC
NOYORI/A     TEMP          658 ANSWERS IN FILE CAPLUS
                                              } 永久保存の回答セット
                                              } 一時保存の回答セット

=> ACT NOYORI/A                             ACTIVATE コマンドで回答セットを呼び出します。
L1          658 SEA FILE=CAPLUS NOYORI R?/AU

=> D                                          呼び出した回答セットは表示や検索に利用できます。

L1 ANSWER 1 OF 658 CAPLUS COPYRIGHT 2002 ACS
AN 2002:511662 CAPLUS
TI Unsymmetric catalysis: science and opportunity
AU Noyori, Ryoji
CS Nagoya University, Japan
SO Huaxue Tongbao (2002), 65(6), 363-372
CODEN: HHTPAU; ISSN: 0441-3776
      : 省略

=> DEL NOYORI/A                             保存してある回答セットは DELETE コマンドで削除できます。
DELETE NOYORI/A? (Y)/N:Y                    ただし、一時保存した場合は一週間後に自動的に削除されます。
```

接続時間料無料のファイルを利用しましょう。

STN Classic と STN on the Web では接続時間料が設定されています。(STN Easy には接続時間料はありません。) 接続時間料はファイルによって異なりますが、どのファイルでも 1 / 100 時間 (36 秒) ごとに課金されます。たとえば「STN 料金表」で CA ファイルの接続時間料が「4,400 円 / 時間」となっていたとします。これは CA ファイルに入ると 36 秒ごとに 44 円課金されるということです。

STN にログインすると、最初の HOME ファイルに入った時点から接続時間料の課金が始まります (HOME ファイルでも接続時間料が課金されます)。まずは速やかに検索して接続時間を短縮するよう心掛けましょう。

しかし、オンラインセッション中に回答レコードをチェックしたり、オンラインシソーラスをじっくり読んだり、質問式を修正したりしたくなることはよくあります。つまりコマンドは実行していないのだけど、検索者の方で考え込んでしまっている場合です。こんな時は、一旦 FILE コマンドで「接続時間無料のファイル」に入りましょう。

「接続時間無料のファイル」はいくつかあります (料金表参照) が STNGUIDE ファイルが適当です。STNGUIDE ファイルに入り接続時間料の課金がストップしてしまえば、それ以前に表示した回答レコードやシソーラスをゆっくり読むことができます。また、ANALYZE や SELECT コマンドで抽出したタームについては、STNGUIDE ファイルの中で DISPLAY 表示することができます (接続時間料、表示料とも無料)。ただし STN では、20 分間全く操作しないと自動的に切断しますのでご注意ください。

以下の利用例をご覧ください。

<CA ファイルの回答や ANALYZE したタームを STNGUIDE ファイルで読む例>

=> FILE CA *CA ファイルで検索します*

```
=> S APPLE AND 2002/PY.B AND P/DT
      26055 APPLE
      203402 2002/PY.B
      3711503 P/DT
L1      98 APPLE AND 2002/PY.B AND P/DT
```

=> D SCAN TI *タイトルを無料で表示します*

```
L1      98 ANSWERS CA COPYRIGHT 2002 ACS
TI      Environment-friendly coating of durable abrasion- and
        peeling-resistant Japanese lacquer
```

HOW MANY MORE ANSWERS DO YOU WISH TO SCAN? (1):97 *残りの 97 件のタイトルを無料で表示します*

```
L1      98 ANSWERS CA COPYRIGHT 2002 ACS
TI      Use of xyloglucan polymers and oligomers, and derivative compounds,
        as phytosanitary products and biofertilizers
```

```
L1      98 ANSWERS CA COPYRIGHT 2002 ACS
TI      Edible fat-based flakes for use in food
```

: 省略

ALL ANSWERS HAVE BEEN SCANNED

=> ANA PA PN *ANALYZE コマンドで特許出願人と特許番号を抽出します*
L2 ANALYZE L1 1- PA PN : 225 TERMS

=> FILE STNGUIDE

一旦 STNGUIDE ファイルに入ります
 ここから接続時間料の課金がストップします

:
 ここで表示画面を前にスクロールすれば, CA ファイルで表示した 98 件のタイトルを読むことができます.

=> D PA TOP10

L2 ANALYZE L1 1- PA PN : 225 TERMS

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	PA PN	
1	7	7	7.14	L'OREAL, FR.	抽出したタームは STNGUIDE ファイルで 表示することができます (無料)
2	6	6	6.12	KANEGAFUCHI CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD., JAPA	
3	4	4	4.08	JAPAN	
4	2	2	2.04	BAYER AKTIENGESELLSCHAFT, GERMANY	
5	2	2	2.04	RIKEN VITAMIN CO., JAPAN	
6	2	2	2.04	SHIONO KORYO KAISHA, LTD., JAPAN	
7	2	2	2.04	USA	
10	1	1	1.02	AOMORI PREFECTURE	
11	1	1	1.02	ARUSOA CO., LTD., JAPAN	
12	1	1	1.02	ASAHI SOFT DRINKS CO., LTD., JAPAN	

77 MORE TERMS WITH AN OCCURRENCE COUNT OF 1

=> D PN WITH "JP"

L2 ANALYZE L1 1- PA PN : 225 TERMS

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	PA PN
83	1	1	1.02	JP2002000244
84	1	1	1.02	JP2002000248
85	1	1	1.02	JP2002003353
86	1	1	1.02	JP2002003389
87	1	1	1.02	JP2002003886
88	1	1	1.02	JP2002017165
89	1	1	1.02	JP2002017317
90	1	1	1.02	JP2002020213
91	1	1	1.02	JP2002051687
92	1	1	1.02	JP2002080301

33 MORE TERMS WITH AN OCCURRENCE COUNT OF 1

=> FILE CA

検索を続行する場合は再び CA ファイルに入ります

: 省略

H 付き, Z 付きファイルを上手に使い分けましょう。

STN Classic または STN on the Web には, 同じファイル名の頭に H または Z が付いたファイルがいくつか搭載されています。(例えば CAplus ファイルには, HCAplus ファイルと ZCAplus ファイルがあります。) これは検索機能や収録データは同じですが料金体系のみ異なるファイルです。

H は Hour (接続時間料金あり), Z は Zero hour (接続時間料金なし) を表しています。それぞれのファイルの料金体系の特徴は以下のとおりです。検索語の数や使用目的によって上手に使い分け, 経済的に情報を入手してください。

H 付きファイル	接続時間料が高めに設定されていますが, 検索語料はありません。このため, 多数の検索語を使用する場合に適しています。
Z 付きファイル	検索語料が高めに設定されていますが, 接続時間料はありません。このため, 回答をじっくり読んだり, EXPAND コマンドで索引語やシソーラスをチェックする場合に適しています。

ただし, これらの料金体系のみ異なるファイル (例: CA, HCA, HCAplus) は, 一連の検索の途中で切り替えて使うことはできません。例えば, HCAplus ファイルで検索した回答セットを ZCAplus ファイルで表示することはできませんのでご注意ください。

検索料金を節約しましょう。

2003 年 3 月現在, 検索などで課金されるファイルは以下のとおりです。

課金の種類	ファイル
検索語料	ALFRAC, CA, HCA*, ZCA, CAOLD, CAplus, HCAplus*, ZCAplus, CASREACT, CHEMLIST, CIN, MARPAT, MARPATprev, REGISTRY, ZREGISTRY, CEN, COPPERDATA, GenBank, GMELIN, HODOC, PDLCOM, PLASNEWS, PLASPEC
構造検索	CASREACT, MARPAT, MARPATprev, REGISTRY, ZREGISTRY, CHEMINFORMRX, CHEMREACT, GMELIN, WPIDS, WPINDEX, WPIX, DRUGU
配列検索	DGENE, REGISTRY, PCTGEN
ほか	DIPPR, SPECINFO, ICSD

* BEILSTEIN ファイルの回答セットから抽出 (SELECT, ANALYZE, TRANSFER) した CAS 登録番号に対しては課金される。

課金される質問式を同一セッション中で再度検索することのないよう気をつけましょう（再度課金されてしまいます）。STN の回答セットの L 番号は、ファイルをいくら切り替えてもセッション終了時まで何度でも利用できます。回答レコードを再度表示したり、回答セットに対してさらに限定する場合は、再度初めから検索するのではなく、一度作成した回答セットの L 番号を利用しましょう。 参照

課金される質問式を実行する場合は、検索料が無駄にならないよう、以下のように事前に質問式をよくチェックしましょう。

- ・ 構造検索ではサンプル検索を行い、回答の予想件数や回答レコードをチェックします。
- ・ STN on the web の Free Search Preview では、入力した質問式でどのファイルで何件の回答が得られるかを無料でチェックできます。
- ・ 検索補助資料を用いて統制語や分類コードなどを調べます。
- ・ オンラインシソーラスや予備検索を利用して適切な検索語を探します。
- ・ キーワード、書誌的データ、物質名称など、タームを使う検索では EXPAND コマンドで検索語の妥当性をチェックします。
- ・ 検索語をあまり用いないよう、前方一致・後方一致・中間一致検索などを駆使します。
- ・ 検索語料の課金されるファイルでは、EXPAND や SELECT コマンドで得た多数の E 番号を用いた検索や、ANALYZE や TRANSFER 機能で抽出した多数のタームの検索は実行しないようにします。
- ・ 多数の検索語を使用する場合は、検索語料の課金される CAplus (CA) ファイルなどの代わりに検索語料の課金されない HCAplus (HCA) ファイルなどを利用します。
- ・ 後で再利用しそうな回答セット、とりわけ検索料が課金された回答セットは一次保存しておきましょう。 参照

回答セットは再利用しましょう。

STN Classic または STN on the Web では、接続時間料が課金されます。また一部のファイルでは、さらに検索料（検索語料や構造検索料など）が課金されます。このためたとえ回答を表示しなくても、その回答セットを得るまでに使用料の課金がなされます。一度作成した回答セットは貴重です。できるだけ再利用しましょう。

再利用とは、たとえば以下のような利用のことです。

まず CA ファイルで回答セット L1 を得て、回答をタイトルのみ無料表示しました。その後 WPINDEX と BIOSIS ファイルで検索して回答をチェックしましたが、最終的には最初の CA ファイルの回答セット L1 を有料表示することに決めました。そこで CA ファイルに入りなおし、再度検索するのではなく、回答セット L1 を表示します。このように、同一セッション中に作成した回答セットは、（L 番号を削除しない限り）何度でも再表示できます。

REGISTRY ファイルで名称中に「SARTAN」という文字列を含む物質を検索したところ、回答セット L1 が得られました。このうち八口ゲン族元素を含む物質に限定する場合は、回答セット L1 に対して

限定してください(回答セット L2 参照). 回答セット L3 のように L1 を利用しないと, 余分な検索料が課金されてしまいます.

[課金例]

```
=> S ?SARTAN?/CNS
L1          32 ?SARTAN?/CNS
```

ここで検索語料 1 語分が課金されます

```
=> S L1 AND X/ELS
        6200576 X/ELS
L2          12 L1 AND X/ELS
```

経済的な検索方法です
ここで検索語料 1 語分が課金されます

```
=> S ?SARTAN?/CNS AND X/ELS
        32 ?SARTAN?/CNS
        6200576 X/ELS
L3          12 ?SARTAN?/CNS AND X/ELS
```

不経済な検索方法です
ここで検索語料 2 語分が課金されます

同一セッション中の回答セットでなくとも, 以下の方法で以前に作成した回答セットを再利用することができます.

- ・ LOG H コマンドで終了し 1 時間以内に再接続すれば, 前のセッションの回答セットを再利用できます.
- ・ SAVE コマンドで回答セットを保存しておけば, 後日 ACTIVATE コマンドで呼び出して再利用できます. SAVE コマンドで保存する場合, 永久保存か一時保存かを選択できます. 保存された回答セットは保管料が毎月課金されますので, 「とりあえず保存しておこう」という場合は一時保存がおすすめです. 参照

表示料金を節約しましょう.

回答の適合性チェックなどは, できるだけ無料の表示形式を利用しましょう. 無料の表示形式は料金表で確認できます. (または, 各ファイルに入り => HELP COST と入力してもそのファイルの料金体系を確認できます.)

回答はなるべく定型表示形式を指定しましょう. STN では回答レコード中の各フィールドコードを指定して情報を表示することもできます(カスタム表示形式)が, この場合, 表示された情報を含む最も安い定型表示形式の表示料金が課金されます. 同じ料金ならば少しでも情報量の多い定型表示形式を利用しましょう.

[課金例]

```
=> S PRION
L1          3508 PRION
```

これらのフィールドを含む BIB 表示形式が課金されます

```
=> D TI SO
```

```
L1 ANSWER 1 OF 3508 CAPLUS COPYRIGHT 2002 ACS
TI Creutzfeldt-Jakob disease: interaction between genes and environment
SO Neuroforum (2002), 8(1), 163-170
CODEN: NRFMFO; ISSN: 0947-0875
```

=> D BIB *BIB 表示形式を指定した方が同じ料金でより多くの情報を表示できます*

```
L1 ANSWER 1 OF 3508 CAPLUS COPYRIGHT 2002 ACS
AN 2002:595826 CAPLUS
TI Creutzfeldt-Jakob disease: interaction between genes and environment
AU Zerr, Inga; Poser, Sigrid
CS Neurologische Klinik Universitätsklinikum Gottingen, Gottingen,
   37075, Germany
SO Neuroforum (2002), 8(1), 163-170
   CODEN: NRFMFO; ISSN: 0947-0875
PB Spektrum Akademischer Verlag
DT Journal
LA German
```

特許番号や薬効分類など、あるフィールドの情報をまとめて表示できれば十分な場合は、DISPLAY コマンドではなく SELECT コマンドや ANALYZE コマンドを利用しましょう。一般に SELECT コマンドで抽出した情報を表示する方が DISPLAY コマンドより安価ですみます。またファイルによっては無料で SELECT できる場合もあります。ANALYZE コマンドの方は必ず実行料が課金されますが、処理件数によっては SELECT や DISPLAY コマンドより安価になる場合があります。

[SELECT 表示例 1 : BEILSTEIN ファイルで物質名称を無料表示した例]

=> FILE BEILSTEIN

=> S C9H13CLN202S2/MF *分子式で検索したところ、3 件の回答が得られました。*
L1 3 C9H13CLN202S2/MF

=> SEL CN L1 1 *L1 の 1 番目のレコードの物質名称を抽出します。*
E1 THROUGH E1 ASSIGNED

=> D SEL *抽出した E1 を表示すると物質名称をチェックできます。*
E1 1 S-CHLOR-S-DIMETHYLAMINO-N-(4-METHYLPHENYLSULFONYL)IMINOSULFURAN/CN

=> SEL CN L1 2 *L1 の 2 番目のレコードの物質名称を抽出します。*
E2 THROUGH E2 ASSIGNED

=> D SEL E2 *抽出した E2 を表示すると物質名称をチェックできます。*
E2 2 2-AMINO-4-CHLORO-5-PROPYLSULFANYL-BENZENESULFONAMIDE/CN

=> SEL CN L1 3 *L1 の 3 番目のレコードの物質名称を抽出します。*
E3 THROUGH E4 ASSIGNED

=> D SEL E3-4 *抽出した E3-4 を表示すると物質名称をチェックできます。*
E3 1 2-AMINO-4-CHLORO-5-ISOPROPYLSULFANYL-BENZENESULFONAMIDE/CN
E4 1 2-SULFAMOYL-4-ISOPROPYLTHIO-5-CHLORANILIN/CN

[SELECT 表示例 2 : DRUGPAT ファイルで特許番号を無料表示した例]

=> FILE REGISTRY

=> E HALCION/CN 5

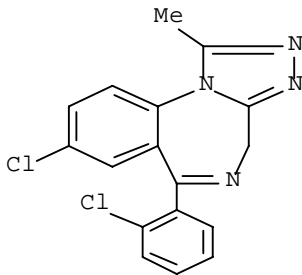
```
E1      1      HALCINOLIDE-TRIAMCINOLONE ACETONIDE MIXT./CN
E2      1      HALCINONIDE/CN
E3      1  --> HALCION/CN
E4      1      HALCO-SUDS/CN
E5      1      HALCOAT/CN
```

=> S E3 *REGISTRY* ファイルでハルシオンを検索します。

L1 1 HALCION/CN

=> D SCAN

```
L1  1 ANSWERS  REGISTRY  COPYRIGHT 2002 ACS
IN  4H-[1,2,4]Triazolo[4,3-a][1,4]benzodiazepine, 8-chloro-6-(2-
    chlorophenyl)-1-methyl- (9Cl)
MF  C17 H12 Cl2 N4
CI  COM
MF  C17 H12 Cl2 N4
CI  COM
```



PROPERTY DATA AVAILABLE IN THE 'PROP' FORMAT

ALL ANSWERS HAVE BEEN SCANNED

=> FILE DRUGPAT *DRUGPAT* ファイルに入ります。

=> S L1 *クロスオーバー検索します。*

L2 25 L1

=> SEL PN *L2 の全件から特許番号 (PN) を抽出します (無料)。*

E1 THROUGH E24 ASSIGNED

=> D SEL *抽出した特許番号を表示します (無料)。*

```
E1      1      AU462769/PN
E2      1      BE747493/PN
E3      1      BR7017488/PN
E4      1      CA905954/PN
E5      1      CH535788/PN
E6      1      DD83360/PN
E7      1      DE2012190/PN
E8      1      ES376689/PN
E9      1      FR2034999/PN
E10     1      GB1291631/PN
E11     1      HK7700616/PN
E12     1      IL33859/PN
      : 省略
E24     1      ZA7000743/PN
```

- ANALYZE コマンドの方は必ず実行料が課金されますが、処理件数によっては SELECT や DISPLAY コマンドより安価になる場合があります。

[ANALYZE 表示例：CAplus ファイルで特許情報を表示した例]

=> FILE CAPLUS CAplus ファイルに入ります。

=> S_GENE_CHIP# 遺伝子チップに関する文献を検索します。

```

716008 GENE
55287 CHIP#
L1      906 GENE CHIP#
        (GENE(W)CHIP#)
    
```

=> ANA_PN_PA_IPC_RN_AN ANALYZE コマンドで L1 の全件から 5 つまで情報を抽出できます。
L2 ANALYZE L1 1- PN PA IPC RN AN : 25809 TERMS 実行料 1,190 円が課金

=> D_PN_1- L1 中の全ての特許番号を表示します。抽出したタームは無料で表示できます。
L2 ANALYZE L1 1- PN PA IPC RN AN : 25809 TERMS

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	PN PA IPC RN AN
166	2	2	0.22	US6406853
167	2	2	0.22	W02001045752
265	2	1	0.11	W02000004041
266	2	1	0.11	W02000053810
267	2	1	0.11	W02001007652
268	2	1	0.11	W02001010205
269	2	1	0.11	W02001046243
270	2	1	0.11	W02001048249
271	2	1	0.11	W02001074995
272	2	1	0.11	W02001075004

: 途中省略

=> D_PN_1- WITH "JP" L1 中の日本の特許番号を表示します (無料)。
L2 ANALYZE L1 1- PN PA IPC RN AN : 25809 TERMS

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	PN PA IPC RN AN
1195	1	1	0.11	JP2001330607
1196	1	1	0.11	JP2002027986
1197	1	1	0.11	JP2002058478
1198	1	1	0.11	JP2002117138

=> D_PA L1 中の特許出願人上位 10 社を表示します (無料)。
L2 ANALYZE L1 1- PN PA IPC RN AN : 25809 TERMS

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	PN PA IPC RN AN
6	169	169	18.65	SHANGHAI BIOWINDOW GENE DEVELOPMENT INC., PEOP.
13	118	118	13.02	BIOWINDOW GENE DEVELOPMENT INC. SHANGHAI, PEOP.
14	107	107	11.81	BODE GENE DEVELOPMENT CO., LTD., SHANGHAI, PEOP.
23	56	56	6.18	FUDAN UNIVERSITY, PEOP. REP. CHINA
24	56	56	6.18	SHANGHAI BIO DOOR GENE TECHNOLOGY LTD.
25	53	53	5.85	BIOROAD GENE DEVELOPMENT LTD. SHANGHAI, PEOP.
30	43	43	4.75	BIODOOR GENE TECHNOLOGY LTD. SHANGHAI, PEOP.
41	19	19	2.10	BIOWINDOW GENE DEVELOPMENT INC., PEOP. REP. C.
42	18	18	1.99	BORONG GENE DEVELOPMENT CO., LTD., SHANGHAI,
44	16	16	1.77	BODAO GENE TECH. CO., LTD., SHANGHAI, PEOP. R

=> D PA ALP 1- L1 中の全ての特許出願人をアルファベット順に表示します (無料).

L2 ANALYZE L1 1- PN PA IPC RN AN : 25809 TERMS

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	PN PA IPC RN AN
1	1	1	0.11	AFFYMETRIX, INC., USA
2	1	1	0.11	APPLERA CORP., USA
3	7	7	0.77	APPLERA CORPORATION, USA
99	1	1	0.11	BEIJING UNIVERSITY, PEOP. REP. CHINA
100	1	1	0.11	BIODOOR GENE TECHNOLOGY LTD. SHANGHAI
101	43	43	4.75	BIODOOR GENE TECHNOLOGY LTD. SHANGHAI, PEOP.
102	1	1	0.11	BIODOOR GENE TECHNOLOGY LTD. SHANGHAI, PEOP. R
103	53	53	5.85	BIOROAD GENE DEVELOPMENT LTD. SHANGHAI, PEOP.
104	2	2	0.22	BIOROAD GENE DEVELOPMENT LTD. SHANGHAI, PEOP.
105	1	1	0.11	BIOWINDOW GENE DEVELOPMENT INC. SHANGAI, PEOP

: 省略

=> D IPC OCC 国際特許分類を付与頻度の高い順に 10 個表示します (無料).

L2 ANALYZE L1 1- PN PA IPC RN AN : 25809 TERMS

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	PN PA IPC RN AN
1	416	416	45.92	C12N015-12
2	404	404	44.59	C07K014-435
3	322	322	35.54	C12N015-63
4	239	239	26.38	A61K038-17
5	211	211	23.29	C07K014-47
7	144	144	15.89	C07K016-18
8	141	141	15.56	C12N015-10
9	138	138	15.23	C07K016-00
10	137	137	15.12	C07H021-00
11	125	125	13.80	C07K014-00

=> D RN ALP 1- 全ての CAS 登録番号をアルファベット順に表示します (無料).

L2 ANALYZE L1 1- PN PA IPC RN AN : 25809 TERMS

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	PN PA IPC RN AN
1578	1	1	0.11	10124-36-4
1579	1	1	0.11	105388-15-6
1580	1	1	0.11	109136-49-4
1581	1	1	0.11	109675-94-7
1582	1	1	0.11	110463-31-5
1583	1	1	0.11	111745-44-9
1584	1	1	0.11	112567-89-2
1585	1	1	0.11	115926-52-8
1586	2	2	0.22	118414-82-7
1587	1	1	0.11	1191-43-1

: 途中省略

=> D RN OCC 索引頻度の高い CAS 登録番号, 上位 10 個を表示します (無料).
 L2 ANALYZE L1 1- PN PA IPC RN AN : 25809 TERMS

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	PN PA IPC RN AN
26	46	46	5.08	336609-85-9
27	45	45	4.97	342444-76-2
29	44	44	4.86	342444-75-1
53	10	10	1.10	50812-37-8
54	10	10	1.10	9000-83-3
55	10	10	1.10	9026-43-1
58	9	9	0.99	372092-80-3
62	8	8	0.88	346740-25-8
63	8	8	0.88	37259-58-8
64	8	8	0.88	9024-93-5

=> D AN ALP 1- 全ての CA 抄録番号をアルファベット順に表示します (無料).
 L2 ANALYZE L1 1- PN PA IPC RN AN : 25809 TERMS

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	PN PA IPC RN AN
1590	1	1	0.11	122:283211
1595	1	1	0.11	126:2369
1598	1	1	0.11	128:176839
1599	1	1	0.11	128:290667
1601	1	1	0.11	129:186558
1602	1	1	0.11	129:272649
1603	1	1	0.11	129:77066
1605	1	1	0.11	130:1454
1606	1	1	0.11	130:218829
1607	1	1	0.11	130:247468
				: 省略

使用料金をモニターしましょう。

ファイルによって回答の表示料は異なりますし、一部のファイルでは検索料が設定されています。このため、予め料金表をチェックせずに使い慣れないファイルを使用したり、コマンドを入力ミスすると、高額な使用料が課金される可能性があります。たとえば、以下のような場合、予想外の使用料が課金されてしまいます。

- ・ CAplus ファイルなど、検索語料の課金されるファイルで TRANSFER コマンドを実行すると、抽出したタームの数だけ検索語料が課金されます。
- ・ BEILSTEIN ファイルなど、表示料が高めに設定されているファイルで大量のデータを表示すると、高額な表示料が課金されます。

このような事故を避けるため、STN では SET NOTICE コマンドが用意されています。SET NOTICE とは、検索 (SEARCH) や表示 (DISPLAY) を実行する時に、その検索料金、表示料金をモニターするよう設定するためのコマンドです。これを事前に設定しておけば、予め指定した額を超えた場合にシステムがコマンドを中断してくれます。また、課金される料金の概算額が表示されますので、これをチェックした上でコマンドを実行するかどうかを再度指示することができます。

< 設定方法 >

=> SET NOTICE SEARCH <日本円の金額> (PERM) 検索時の使用料の上限を設定

=> SET NOTICE DISPLAY <日本円の金額> (PERM) 表示時の使用料の上限を設定

PERM を入力すれば恒久的な設定となり、PERM を入力しなければ現セッションのみの (すなわち LOGOFF すれば元に戻る) 設定となります。また当該設定は、1 回のコマンドを実行する際に課金される検索料や表示料をモニターします。セッション中の表示料や検索料の累積料金はモニターできませんし、SEARCH と DISPLAY コマンド以外のコマンドで課金される料金についてもモニターしませんのでご注意ください。

< 利用例 1 : SEARCH コマンド実行時の使用料の上限を設定します >

=> FILE CAPLUS CAplus ファイルに入ります。

=> SET NOTICE SEARCH 500 PERM 検索料が 500 円を超えると検索が中断するよう設定します。
NOTICE SET TO 500 JAPANESE YEN FOR SEARCH COMMAND
SET COMMAND COMPLETED

=> S GENE CHIP 検索料が 500 円以下であったので実行されました。
711933 GENE
34057 CHIP
L1 821 GENE CHIP
 (GENE(W)CHIP)


```
=> TRANSFER L1 1- IPC          TRANSFER コマンドで抽出した大量の IPC で検索しようとした
L2          TRANSFER L1 1- IPC :    146 TERMS          ところ、コマンドが中断されました。
THE ESTIMATED SEARCH COST FOR 'L2' FOR FILE 'CAPLUS' IS 93,732 JAPANESE YEN
DO YOU WANT TO CONTINUE WITH THIS REQUEST? (Y)/N or END:N
SEARCH ENDED BY USER
        このまま実行すれば 93,732 円課金されてしまいます。コマンドを取り消しました。
=>
```

< 利用例 2 : DISPLAY コマンド実行時の使用料の上限を設定します >

```
=> SET NOTICE DISPLAY 500 PERM      表示料が 500 円を超えると検索が中断するよう設定。
NOTICE SET TO 500 JAPANESE YEN FOR DISPLAY COMMAND
SET COMMAND COMPLETED
```

```
=> FILE BEILSTEIN                BEILSTEIN ファイルに入ります。
```

```
=> S 160-165/BP                沸点が 160 ~ 165 度の物質を検索します。
L1          41281 160 CEL - 165 CEL /BP
```

```
=> D IDE FBP                    回答を表示しようとしたところ、コマンドが中断されました。
THE ESTIMATED COST FOR THIS REQUEST IS 2000 JAPANESE YEN
DO YOU WANT TO CONTINUE WITH THIS REQUEST? (Y)/N:Y
```

この表示の予想概算料金は、2000 円です、妥当な料金であるため実行することにしました。

```
L1 ANSWER 1 OF 41281 BEILSTEIN COPYRIGHT 2002
    BEILSTEIN CDS MDL
```

```
Beilstein Records (BRN):    8791114
Chemical Name (CN):         6,8-di-tert-butyl-1
                             0-chloro-2,3,4,10-t
                             etrahydro-1H-9-oxa-
                             10-phospha-phenanth
                             rene
```

```
Boiling Point:
Value      | Press.      | Ref.
(BP)       | (.P)        |
(Cel)      | (Torr)      |
=====+=====+=====
165 - 167 | 0.015001   | 1
```

```
Reference(s):
1. Nesvadba, Peter; Dubs, Paul, Synth.Commun. ,
   CODEN: SYNCAV, 31(2), <2001>, 161 - 166;
   BABS-6277204
```

クロスオーバー検索の課金のしくみ

クロスオーバー検索とは、REGISTRY ファイルの回答セットの L 番号を検索語に用いて STN のいくつかのファイルで検索する手法をいいます。クロスオーバー検索では実際には CAS 登録番号が検索されていません。このため、キーワード検索よりも的確に物質関連情報を得ることができます。2002 年 8 月現在、クロスオーバー検索できるファイルは 70 でした（これは => E A/LC で確認できます）。

クロスオーバー検索料は、検索するファイルによって料金が異なります。しかしこれも SET NOTICE SEARCH コマンドで課金状況をモニターすることができます。

- ・ CASREACT 以外の CAS FILES でクロスオーバー検索する場合は課金されません。これに該当するのは以下のファイルです。

CAplus/HCAplus/ZCAplus	CA/HCA/ZCA	CAOLD/HCAOLD
CHEMLIST	CHEMCATS	CIN/HCIN

[課金例]

=> FILE REGISTRY

=>

Uploading C:\Program Files\stnexp\Queries\EXA.str

L1 STRUCTURE UPLOADED 構造質問式をアップロード

=> S L1

: 途中省略

構造検索のサンプル検索

L2 2 SEA SSS SAM L1

=> S L1 FUL

: 途中省略

構造検索のフルファイル検索

L3 34 SEA SSS FUL L1

=> FILE CAPLUS

CAplus ファイルに入ります。

=> S L3

L4 41 L3

CAplus ファイルではクロスオーバー検索は課金されません。

=> D SCAN TI HITRN

L4 41 ANSWERS CAPLUS COPYRIGHT 2002 ACS

TI Synthesis of bacterial C50 carotenoid sarcinaxanthin

IT **128825-78-5P 128842-53-5P**

RL: RCT (Reactant); SPN (Synthetic preparation); PREP (Preparation)
(preparation and reductive deacylation of)

IT **128806-81-5P 128945-81-3P**

クロスオーバー検索では CAS 登録番号が

RL: SPN (Synthetic preparation); PREP (Preparation)

検索されています。

(total synthesis of)

HOW MANY MORE ANSWERS DO YOU WISH TO SCAN? (1):END

- ・ CASREACT ファイルでクロスオーバー検索する場合は，1 回答セットあたり 3,270 円が課金されま
す．回答件数には関係ありません．

[課金例]

=> FILE REGISTRY

=> S CU/ELS AND 1-4/C NOT X/ELS AND 1/NC 2,634 件の物質が得られました．

383557 CU/ELS
1250283 1-4/C
6210895 X/ELS
37694371 1/NC

L1 2634 CU/ELS AND 1-4/C NOT X/ELS AND 1/NC

=> FILE CASREACT CASREACT ファイルに入ります．

=> S L1 CASREACT ファイルでは 1 回答セットにつきクロスオーバー料
L2 1578 L1 1 回分が課金されます (3,270 円)．ここでは L1 中の物質が
関与している反応の記載文献が検索されます．

=> S L1/CAT 反応ルールを付加した場合もクロスオーバー料 1 回分が課金
L3 197 L1/CAT されます (3,270 円)．ここでは L1 中の物質が触媒に使われて
いる反応の記載文献が検索されます．

- ・ CAS FILES 以外のファイルでクロスオーバー検索する場合は 回答セット中の 1 レコードあたり 3 円
が課金されます．このため，回答件数に応じてクロスオーバー料が異なります．

[課金例]

=> FILE REGISTRY

=> S HALCION/CN ハルシオンのレコードが 1 件得られました．

L1 1 HALCION/CN

=> S PRION プリオン関連物質のレコードが 336 件得られました．

L2 336 PRION

=> FILE BIOSIS BIOSIS ファイルに入ります．

=> S L1 1 件分のクロスオーバー料 (3 × 1 = 3 円)

L3 1171 L1

=> S L2 336 件分のクロスオーバー料 (3 × 336 = 1,008 円)

L4 8 L2

また，これはクロスオーバー検索ではありませんが，BEILSTEIN ファイルに関連した注
意点があります．BEILSTEIN ファイルの回答セットから SELECT, ANALYZE, TRANSFER コマンドを
用いて抽出した CAS 登録番号を REGISTRY ファイルで検索する場合は 1 CAS 登録番号あた
り 1,310 円が課金されます．高額な課金となりますので，このような検索は避けましょう．

BEILSTEIN は回答表示に注意しましょう。

BEILSTEIN ファイルは、表示料金のみ課金されるファイルです。接続時間料も検索料も設定されていませんので、オンラインセッション中にゆっくり回答を読むことができますし、構造検索も無料で実行できます。しかし表示料が高めに設定されていますので大量のデータを表示すると、高額な表示料が課金されます。DISPLAY コマンドを実行する時は充分注意しましょう。

- ・ 表示料金をモニターしましょう。

予想外の課金を避けるため、STN では SET NOTICE コマンドが用意されています。SET NOTICE とは、検索 (SEARCH) や表示 (DISPLAY) を実行する時に、その検索料金、表示料金をモニターするよう設定するためのコマンドです。

BEILSTEIN ファイルのためには、事前に表示料金をモニターするよう設定しておきましょう。すると予め指定した額を超えた場合にシステムがコマンドを中断してくれます。また、課金される料金の概算額が表示されますので、これをチェックした上でコマンドを実行するかどうかを再度指示することができます。

< 設定方法 >

=> SET NOTICE DISPLAY <日本円の金額> (PERM) 表示時の使用料の上限を設定

PERM を入力すれば恒久的な設定となり、PERM を入力しなければ現セッションのみの設定となります。また当コマンドは、毎回のコマンドで課金される表示料をモニターします。セッション中の表示料の累積料金はモニターできませんし、SEARCH と DISPLAY コマンド以外のコマンドで課金される料金についてもモニターしませんのでご注意ください。

< 利用例 >

=> SET NOTICE DISPALY 500 PERM 表示料が 500 円を超えると検索が中断するよう設定します。
NOTICE SET TO 500 JAPANESE YEN FOR DISPLAY COMMAND
SET COMMAND COMPLETED

=> FILE BEILSTEIN BEILSTEIN ファイルに入ります。

=> S 160-165/BP 沸点が 160 ~ 165 度の物質を検索します。
L1 41281 160 CEL - 165 CEL /BP

=> D IDE FBP 回答を表示しようとしたところ、コマンドが中断されました。
THE ESTIMATED COST FOR THIS REQUEST IS 2000 JAPANESE YEN
DO YOU WANT TO CONTINUE WITH THIS REQUEST? (Y)/N:Y

この表示の予想概算料金は、2000 円です、妥当な料金であるため実行することにしました。

L1 ANSWER 1 OF 41281 BEILSTEIN COPYRIGHT 2002
BEILSTEIN CDS MDL

Beilstein Records (BRN): 8791114
Chemical Name (CN): 6,8-di-tert-butyl-10-chloro
-2,3,4,10-tetrahydro-1H-9-
oxa-10-phospha-phenanthrene
:

Boiling Point:

Value	Press.	Ref.
(BP)	(.P)	
(Cel)	(Torr)	
165 - 167	0.015001	1

Reference(s):

1. Nesvadba, Peter; Dubs, Paul, Synth.Commun. ,
CODEN: SYNCAV, 31(2), <2001>, 161 - 166;
BABS-6277204

このように SET NOTICE DISPLAY は便利な機能ですが、デフォルトの表示形式 (QRD) や QRD 表示形式, HIT 表示形式で表示した場合は、料金の予想額が事前に計算できないために有効に働きません。BEILSTEIN ファイルでは、HIT 関連の表示形式のみ指定しても、別の表示形式と併せて指定しても 1 件あたり 33,000 円と表示されます。実際にそれだけ課金されるわけではありませんが、HIT 関連の表示形式は高額に課金される場合もありますので、基本的には指定しないでください。

<設定がうまく機能しない例>

=> D L1 1 IDE HIT

THE ESTIMATED COST FOR THIS REQUEST IS **33000** JAPANESE YEN

この場合の実際の表示料は 2,000 円

=> D L1 1-2 IDE HIT

2 件指示すると 66,000 円

THE ESTIMATED COST FOR THIS REQUEST IS **66000** JAPANESE YEN

- ALL 表示形式は使用しないでください。

BEILSTEIN ファイルでは、基本的に 1 フィールド当たり 1 表示料金 (2002 年 8 月現在の料金表では 1,000 円) が課金されます。一般的な物質のレコードには 100 を超えるフィールドが収録されている場合もあります。レコード中の全てのデータを表示すると高額な表示料が課金されることがありますので ALL 表示形式は使用しないでください。欲しい情報を含むフィールドのみを指定してデータを表示しましょう。

- デフォルトの表示形式と HIT, QRD 表示形式は使用しないでください。

BEILSTEIN ファイルのデフォルトの表示形式は QRD (質問式関連データ) です。これは IDE (物質同定情報) 形式と HIT (ヒットした検索語を含むフィールド) 形式をまとめた形式です。BEILSTEIN ファイルで HIT 形式を指定してデータを表示すると、使用した検索語によっては多数のフィールドが表示される場合があります。当ファイルでは表示されたフィールド数に応じて課金されますので、HIT 表示形式、またはこれを含むデフォルトの表示形式、QRD 表示形式は使用しないでください。欲しい情報を含むフィールドのみを指定してデータを表示しましょう。

- 表示指定したフィールドの全データを表示しましょう。

BEILSTEIN ファイルでは、表示フィールドコードに F を付けて入力すると、そのフィールドの全データを同じ表示料金で表示することができます (F を付けないと 20 データまで)。できるだけ多くのデータを入手するために、表示フィールドコードに F を付けて入力しましょう。

